

I N茨城日立★やっぱし、うたは **千カラ** だっぺ

第42回はたらくものの音楽祭大成功!!

◆自治労音協コンサート 第1回で再スタートだっぺ



磯野会長あいさつ

コンサートは、細川さんのリードで音楽祭の発表曲、「ひとりじゃないよ」「和平と愛実へ」を歌い、古谷昌代(滋賀)さんの元氣な司会で進行した。

新潟からは、吉川勝さんが、来る時に車の中で創った新曲「官民較差で活動中」、「NO WOMAN NO CRY」*ボブ・マーリーの和訳、をしつとり歌った。



司会の古谷昌代さん

5月8日、午後6時30分から、日立シビックセンター音楽ホールで開催された第1回自治労音協コンサートには、全国から40人が参加した。日音協各県支部からも聴衆参加があった。

コンサート冒頭、磯野音協会長は第1回として再スタートのコンサートになるが、会員の協力で成功させようといきさつした。

引き続き、地元茨城県本部加藤副委員長から連帯のあいさつを受けた。



茨城県本部加藤副委員長あいさつ



狭石啓子・利美さん

最初は、東京の狭石啓子・利美さんが自作曲の「しあわせ」、「手と手」「アジアの風」を一気に歌い上げ、アジアの風では利美さんとのデュエットを聞かせた。



吉川 勝さん

茨城からは、『WEED』(菊池、鬼沢、久保田、山本)が菊池さん作曲、鬼沢さん作詞の「風と一緒に」「ひまわり」を鬼沢さんの新鮮な歌声で、さわやかに演奏した。



上 鬼沢 菊池 下 山本 久保田

北海道からは「ブルートレイン」の北山、佐藤が「わが家の風景」「ブルートレインのテーマ」の2曲を、20代の頃の国鉄時代に思いを馳せ、懐かしい風景を心を込めて歌った。(次頁に続く)



ブルートレインのメンバー (佐藤・北山)

『ウエストビーチ』(西藤、桃井)は「ウエストビーチのタイムアウト」「なつかしのサウンドテーマ」*毎月新曲を創作3月の作品を二人の息のあったサウンドで響かせた。

ウエストビーチ
西藤安彦さん

桃井雅和さん

♪ 事務局
からの
お知らせ!

みなさまからの投稿をお待ちしております!

E-Mail: jicogawa@jca.apc.org

『自治労音協ホームページ』URL先は<http://www.jca.apc.org/~jicogawa/>

『自治労と音楽のページ』URL先は<http://www33.ocn.ne.jp/~tmatsu/>

『日本音楽協議会のページ』URL先は<http://www.yomogi.or.jp/~uncle/frame.html>

◆自治労音協コンサート

第1回で再スタートだっぺ



ブービーバンド（磯野、榊原、桑野）

『ブービーバンド』の榊原、桑野、磯野の3人コンビは、相



的場さん

変わらず乗りとジョークで「アジアの風」「たずねておいで」*的場さんの作品集と、CDの宣伝、清志郎の追悼を込めてその作品から1曲を演奏した。
最後は、的場さんのリードで「たずねておいで」全員で歌い、盛り上がる中第1回コンサートを終了した。

第17回自治労音協総会



総会で協議する会員

第17回自治労音協総会は、5月9日（土）午後5時から、音楽祭会場の会議室に28人が参加して開催された。議長に細川さんを選出し、冒頭磯野会長があいさつ。松本事務局長から経過と09活動方針を提案した。今年は昨年から提起している音協としての日音協加盟を行うことが強調された。日音協県支部がない会員を中心に、任意加入を基本に音協として日音協自治労音協支部会員を募ることを確認した。なお、新事務局長に桃井雅和さんを選出した。

第42回はたらくものの音楽祭から「うたい」「つくり」をひろめよう

自治労音楽協議会副会長（日音協事務局長）

松本 敏之



アコ合奏で出演の伊藤さん（宮城）

はたらくものの音楽祭は、茨城県実行委員会、関東ブロックの仲間たちをはじめ、多くの参加者、会員、協力者の力によって、成功しました。自治労音協からも多くの会員が出演されました。

初日夜の全国交流会や日曜日終了後の合評会では、今までになく演奏が充実していたとの感想が多くありました。

一方で、最近テーマになって



スマイリー松本と愉快ななかまたち（左：鳴澤さん、中央：松本敏之さん、右：桃井さん）

きていることは「つくり」と

「うたい」との関係。「つくり」も「うたい」も、みずから表現する運動としては同じレベルのものですね。「じぶんの言葉で表現し、労働者の現実をいきいきと描く」と言います

が、「うたい」の中で、じぶんの言葉になり、現実を描く、ということが一歩前進してきたの



広島音楽サークル協議会で出演の島田さん



ウエストビーチのみなさん

かも知れません。



青木ファミリーの後ろは原佐由理さん（長野）

「つくり」については、7月11日13時から12日12時まで、八王子セミナーハウス中央セミナー室（東京都八王子市下柚木1987の1）で、日音協創作合宿を開催します。創作作品を持ちより、創作者同士の相互批評でまなびあうことを中心にします。参加申し込みは6月19日までに日音協事務所まで。多くの仲間の参加をお願いします。



自治労音楽協議会で合唱発表（この写真は合成です）

道楽道

連載その18

反貧困フェスタ2009

白石 孝(荒川区職労書記長)

☆1700人が来場

3月28日、神田一橋中学校で「反貧困フェスタ2009」が開催され、1,700名が来場した。労働・生活相談、無料検診、炊き出し、分科会、全体集会という多彩な取り組みだったが、私は校庭での音楽演奏ステージを担当した。月桃歌舞団、五十嵐正史&ソウルブラ

ザーズ、佐藤壮広、愛染恭介、ノ・カヨ+矢野敏広、塚本正治、寿、カラカサンが出演。五十嵐正史&ソウルブラザーズは、障がい者施設などで働く若者5人のバンドで、ロック、ブルース、民謡などの音楽をベースに「生きるための歌」を作り続け、生活の中で出会う様々な場所で歌い続けている。私は京都のフォークシンガー豊

☆派遣を切るな行動

実は、2月25日、雨模様の寒い昼間、大手町の日本経団連前での「(派遣を)切るな!」行動でも彼らと寿に出たい

た。大型宣伝カーの上で寿が2曲歌い、次は五十嵐さんたちとこの時に、警察から逮捕予告が出され、やむなく宣伝カーを移動した後、彼は三線の伴奏者と歩道上で力強く歌った。

田勇造のライブで初めて知ったが、住民基本台帳ネットワーク反対の杉並区での街頭キャンペーンなどにも登場してもらい、彼らの力強く心の底からの演奏に段々魅かれるようになってきた。新宿の年越し炊き出しでも梅津和時ら

佐藤壮広さんの唄は初めてだった。大学の非常勤講師である彼は、授業でも「非常勤ブルース」を披露している。私の好みにぴったしのかっこいいブルースマンで、非正規労働者の心情を見事に歌い上げている。愛染恭介さんは、新宿駅地下東口改札口近くにあるカフェ「ベルク」のメンバーだ。

3月末なのに寒風吹きすさぶ一日、苦勞した甲斐があったというものだ。

CD紹介
『Book Bear』

自治労熊本県本部 教育宣伝部長 原田靖士

小学生熊本応援バンド『Book Bear』このバンドは、地元第3セクターのコミュニティFM熊本シティエフエム

(現在組合設立準備中)でメンバーを募集。2007年11月にオーディションを開催し結成しました。

同局の番組テーマやラジオスポットなどに曲が流されたり、ローカルのテレビ番組に出演したり、月2回平均自治体行事などでライブを行うなど地元の人気者になりつつあります。

私は、プロデューサーとして企画段階から関わり、オーディション、演奏指導、楽曲提供を

原田靖士 アドレス
harada.yasushi
@city.kumamoto.lg.jp



五十嵐正史 & ソウルブラザーズの演奏



◆私のギター人生◆ パート7

★「人に教えるために自分が習う」

☆女性の手に触れる？

狭石 利美(自治労東京都本部)

東京青年文化センターにギター教室を開設し、人に教えるために自分が習うというきわめて目的意識的(?)なギター生活が始まった。教えるほうはいいかもれないが、教わるほうはたまつたものじゃないと今でこそ思うが、当時はまじめに本気だった。

アポヤンド奏法(弾いた指を次の弦上に止める)とアルアイレ奏法(弾いた指を空中に浮かす)などの区別も初めて知った。習うのも初めて、教えるのも初めてという、とっても新鮮な経験だった。まだ私も20代前半(確か23歳)で、教える相手も皆な似たり寄ったりでみんな若かった。中には10代の女の子もいた。先輩も一人や二人はいたが、ほとんどは私と同年代か私より若い人がほとんどだった。まさに東京「青年」文化センターだったのだ。

さてギターを教えるということとは、そこどういうことになるか。右手も左手もスムーズに動かすためにはそれなりの合理的で効率的なフォームという力の入れ方というか、ようするに肩・腕から手首・手のひら・指の先までそれぞれ理にかなった使い方があつた。それを分かつてもらうためには、時には相手の指や手の甲や腕に触れて説明しなければならぬ。

☆突然の入院生活

そんな生活が半年ぐらい続いた頃だったろうか、突然入院する羽目になった。たまたま風邪で熱があつたので自宅近くの病院へ行つた。尿検査をしたら潜血反応が出た。急性腎炎の疑いが濃い、放っておくと慢性化してそのうち腎不全になったら大変だ、即入院しなさいと言われて。一度入院というものをしてみたい、出来ればどこも痛くない、一日ベッドで本でも読みながらごろごろしていればいい、そんな入院がしてみたいとの変な「願望」をかねてから持つて

いた私は、不謹慎にも正直言つて少し喜んだ。

でもそんな期待通りの入院生活もたった一週間しか続かなかつた。急性腎炎といつても、どこか痛いわけではない。食欲は十分ある。それなのに腎臓病

の病院食はほとんど塩気がない。味も素っ気もないというやつだ。焼きたてのステーキなんか絶対出ない。天婦羅やとんかつなど絶対出ない。たまに出て

も肉は鶏肉、魚は白身、そのうゑ夕食は早々と5時ごろには毎日きちんと届く。しかもほとんど冷めている。5時に食べると

どんなにゆっくり食べたつて5時30分には食べてしまう。そしてなんと驚くかなれ9時には消灯だった。いくら体を動かして

ないと言つても、10時ぐらゐになるとさすがに腹が減つて困つた。ラーメンとかカツ丼とか、つぎからつぎへと食べ物が

頭の中をよぎる。ご丁寧にも、そういう時は味とか香りとかも一緒に思い出す。するとますます腹が減る。この繰り返し、

おーまさに「悪魔のスパイラル」だ。どうしても我慢できな

いとき、お見舞いの果物とかクッキーがある場合は、周りの患者に迷惑がかからないように

夜中にそつとかじつて飢えをしない。夜中(半年後に退院した時には、体重が47キロになつて

いた) ある時センターのギター教室の生徒(仲間)たちが5、6人で見舞いにやつてきた。帰り際

に赤提灯で一杯やつていく相談が耳に入った。そうだよな、外にいれば当然だよなと思いが

らも、羨ましくて仕方がなかつた。人は、失われて初めてその価値を実感するというのが、好き

なときに好きなものが食べられるということが、どれだけ大切

ですばらしいことなのかよく分かつた。(皆さん健康には

くれぐれも留意しましょう) 結婚して一年もたつていなかった妻はショックだったに違

いない。毎日仕事を終えるときまっすぐ病院に来て面会時間終了までいてくれた。(その節は

ご苦労をおかけしました。この場を借りてあらためてお詫びとお礼を言わせてもらいます)

スケール練習で大切なことは、ピアノシモからフォルテツシモまで、一つ一つの音をは

きり、よりきれいに、レガートに出すため、より合理的で効率的な(そのためにはより小さな

指の動きも要求される)指の動かし方を身につける、という目的意識を持つて指の一本一本に

神経を集中して行うことである。(つづく)

2009年度自治労音楽協議会 年会費の納入のお願い

2009年度会費は2000円です。これまでの会費については、郵便振込用紙を送付いたしましたので、未納の会員のかたは納入してください。労金でも以下の口座で受付けます。なお納入状況はメールでお問い合わせください。

問い合わせ先 ogawan@ubcnet.or.jp

中央労働金庫新宿支店

普通預金 8929145

自治労音楽協議会

郵便振替 00110-8-571236

自治労音楽協議会